

鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

■ネイチャーセンターは休館中です（4/1～9/30）



オオジシギ

今朝も、ズバズバと空気を切り裂くような音で目覚めました。オオジシギのオスがディスプレイフライトを行い、お嫁さん探しをしているのでしょう。ジュビージュビーと独特な鳴き声も聞こえます。

オオジシギは、主に関東以北で繁殖し、オーストラリアで越冬する渡り鳥です。牧草地や草原など開けた場所を好むので道東では馴染の鳥ですが、本州や道央圏では数が減っています。鶴居村には、オオジシギが安心して子育てできる自然環境が身近にあることが嬉しいです。

（桜井）【5月31日 17°C/13°C】

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内
■周辺観光情報 ■自然ふれあい行事
※開館時間（4～10月）午前9時～午後5時



ヤナギ大好きベニマシコ

当ビジターセンターの周辺には花期を終えたヤナギ類がたわわに実をつけています。その実を心待ちにしていたのがベニマシコ。「腹が減っては戦はできん」とばかりに、縄張り争いや子育ての合間にこのヤナギの実をムシャムシャ頬張っていました。よほどお腹が空いていたのか、こちらに気づきながらも食事をやめられない姿がとても愛らしかったです。「ピッポ、ピポポ…」と聞こえたら要注意。

（藤原）【5月27日 16.6°C/6.4°C】

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

■湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事
※開館時間（4月～10月）午前10時～午後5時
◎入館料 無料



湖上を飛ぶオジロワシ

塘路湖周辺ではオジロワシが数つがい繁殖していて、今の時期、生まれたばかりのヒナに餌を運ぶために、湖上を行き来する親鳥の姿をよく見かけます。また、繁殖年齢前の幼鳥を見かけることも多く、湖上をしばらく観察していると、かなりの確率でオジロワシに出会うことができます。最近センター対岸付近の低空を旋回していることが多く、時には湖面に急降下して獲物を捕らえる瞬間を見られることもあります。

（中野）【5月28日 18°C/14°C】